

令和8年度用

改訂新版

数学の新研究

鹿児島県 高校入試情報

令和7年度鹿児島県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 大問数は5問、小問数は28問で、例年通り。
- 大問1は基本問題の小問集合、大問2は作図、証明、計算過程の記述を含む各領域の問題、大問3はデータの比較と箱ひげ図、大問4は関数、大問5は三平方の定理と平面図形の問題が出題された。
- 大問3はパリオリンピックに出た選手の身長を題材として、箱ひげ図、ヒストグラムを読み取るデータの活用 of 総合問題であった。
- 問題文の長い問題や会話文、記述問題も出題されるので、大問1、2の基本問題を確実に効率良く解いて、時間を確保しておきたい。

★鹿児島県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■ データを読みとる問題の出題

・表やヒストグラム、箱ひげ図などのデータを読みとって答える問題がよく出題されている。データの傾向をとらえられるよう練習しておく必要がある。

新研究で対策！

- 「数値を示そう！データを読みとって説明する問題」(p. 172～173), 「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」(p. 188～191)で、複数のデータを読みとる問題に取り組むことができます。

■ 三平方の定理を利用した問題の出題

・体積や面積などの三平方の定理を利用した問題が例年出題されている。円周角の定理と組み合わせた問題もよく出題されるので、対策が必要である。

新研究で対策！

- 「チャレンジ！平面図形と空間図形の総合問題」(p. 186～187)で、三平方の定理を利用する問題を集中強化することができます。

全領域から出題され、基本的な問題も多いので、1～3年の内容をしっかり復習しておきましょう。



★鹿児島県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	1年内容	正の数・負の数	●	●		●	
		文字と式	●			●	
		方程式			●	●	
		比例と反比例	●		●	●	
		平面図形	●	●	●		
		空間図形		●	●	●	
		データの分析と活用	●	●	●	●	
	2年内容	式の計算	●		●		
		連立方程式	●	●	●	●	
		1次関数	●	●	●	●	
		図形の調べ方	●	●	●	●	
		三角形	●	●			
		平行四辺形	●	●		●	
		確率	●	●	●	●	
	データの比較と箱ひげ図		●	●	●		
	3年内容	式の計算	●	●	●		
		平方根	●	●	●	●	
		2次方程式	●	●	●	●	
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●	
		相似な図形	●	●	●	●	
		円の性質	●		●		
		三平方の定理	●	●	●	●	
		標本調査	●		●		
	出題形式別の傾向	大問数		5	5	5	5
		小問数		29	30	28	28
記述問題		図形の証明(説明)	1	1		1	
		その他の説明・証明など			1		
		立式・解法の過程の記述	3	2	3	3	
		作図(図形)	1	1	1	1	
	作図(グラフ)						

★新研究で出題した鹿児島県の入試問題(令和7年度)

p.69大問4,p.87大問6,p.171大問4